

市長 面談資料

件名	飛騨高山の匠の技デジタルアーカイブ資料集、左甚五郎編の刊行報告
日時	令和5年11月15日(水) 11:00-11:45
場所	市長室
面談者	<p>岐阜女子大学 〒501-2592 岐阜県岐阜市太郎丸 80 番地</p> <p>■学長 松川 禮子 (マツカワ レイコ) 長野県出身。岐阜大学で約33年教鞭を取られた後、2007年2月1日より岐阜県教育委員会・教育長に就任。岐阜大学名誉教授。H30.4.1より岐阜女子大 学長就任。著作物多数</p> <p>■教授 久世 均 (クゼ ヒトシ) 岐阜女子大学 (文化情報研究センター長、デジタルアーカイブ研究所長・附属図書館副館長・上級デジタルアーキビスト・文部科学省 学校DX戦略アドバイザー・デジタル庁デジタル推進員)</p>
内容	<p>(1) 岐阜県私立大学地方創生推進事業へのご協力のお礼</p> <p>(2) 飛騨高山匠デジタルアーカイブ冊子(上・中・下・左甚五郎編)の刊行の報告について</p> <p>(3) 今後の飛騨高山匠デジタルアーカイブの活用について</p> <p>(4) その他</p>
参考情報 これまでの経緯等	<p>・平成22年から24年まで、大学のデジタルアーカイブ専攻、初等教育学専攻において、飛騨一之宮の文化の再発見をするために、飛騨一之宮のデジタルアーカイブ事業を実施。Web、デジタル教材、テキスト教材を作成し、小学校の授業で活用。</p> <p>・平成28年度から現在、大学のデジタルアーカイブ専攻において、飛騨高山匠の技デジタルアーカイブの事業を実施し、現在10万点の地域資料を記録・データベース化し管理している。伝統文化産業(飛騨春慶・一位一刀彫等)を多視点でのデジタルアーカイブにより、伝統文化産業の理解と継承、その利活用による地域社会の振興を支援に取り組む。現在、中部国際空港の国内線と国際線に飛騨高山匠の技デジタルアーカイブに関するデジタルサイネージを設置している。</p>
同席者	一般財団法人飛騨高山大学連携センター 六角センター長、木岡副センター長
添付資料	大学からの送付資料 別添のとおり